WORK LIFE BALANCE 2018

仕事と生活のバランス

vol.38

変えよう働き方　認めよう多様性
笑顔が広がる　ワーク・ライフ・バランス

公益財団法人兵庫県勤労福祉協会
ひょうご仕事と生活センター

contents

特集 2-4　新しくなった自己診断システムで
ワーク・ライフ・バランスの実現度をチェックしよう！

5　ひょうご仕事と生活の調和認定企業を募集しています
金融機関と連携してワーク・ライフ・バランス推進企業への金融支援

6　私たちの仕事場～「仕事と生活のバランス」最前線～　株式会社姫路シティ FM21（姫路市）

7　ワーク・ライフ・バランス関連書籍紹介
県政トピックス　始めませんか？安心・安定のワンコイン福利厚生制度「ひょうごファミリーパック」

8　information　ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズ募集中

特集 SPECIAL FEATURE

新しくなった自己診断システムでワーク・ライフ・バランスの実現度をチェックしよう!

ひょうご仕事と生活センター（以下センター）で提供しているワーク・ライフ・バランス（以下WLB）の自己診断システムが、今年度からリニューアルしました。職場のWLBの実現に向けて、ぜひ活用してください。

WLB実現度のチェック方法について知ろう

センターのホームページにある自己診断システムから、WLB の実現に必要な「4本の柱」に基づいた全39の質問に回答することで、WLB に関する自組織の課題が見えてきます。

【自己診断システムのリニューアルポイント】

質問項目が57から39に厳選され、**所要時間が約10分に短縮**されるとともに、より回答がしやすい表記になりました。

【自己診断システムを利用するとこんなことが可能に！】

■自組織の WLB 実現に向けて**課題がどこにあるか**を知ることができます。

■定期的に自己診断を行うことで、**どれだけ推進できたか**を確認することができます。

■診断により明らかになった**課題をセンターと共有**し、適切なアドバイスやサポートを受けることができます。

■一定の基準を満たすと、**認定・表彰の申請**ができます。

【自己診断の質問項目】

※ WLB の実現には**「4本の柱」**が必要です

WLB の取組「4本の柱」

WLB 制度整備

仕事と育児の両立（3項目）
仕事と介護の両立（3項目）
仕事と自己や地域生活（3項目）

働き方の見直し

業務内容（3項目）
業務体制（3項目）
職場環境（3項目）

WLB 組織風土

基盤・体制づくり（5項目）
継続・浸透の取組（4項目）

WLB 実現の実績数値

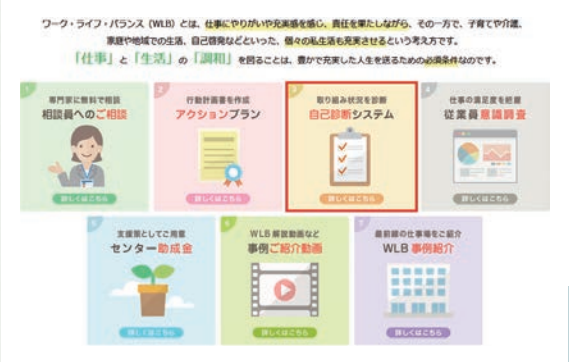
年次有給休暇取得率（3項目）
所定内・所定外労働時間（3項目）
女性管理職比率（3項目）
男女勤続年数差（3項目）

早速、診断してみよう！

事前に用意するもの　下記の実績数値がわかる資料

① 昨年度の年休付与日数・取得日数
② 昨年度の月平均所定内・所定外労働時間数
③ 男女別管理職（部長・課長級）の人数
④ 男女別平均勤続年数

Step 1　センターの HP から自己診断システムを開こう！



QRコード

ひょうご仕事と生活センター　自己診断　検索

Step 2　質問に回答しよう！

ポイント！

途中まで答えた内容は保存することができます！
『保存する』ボタンをクリックして、その後に URL を保存しておけば、いつでも再スタートが可能！

Step 3　診断結果を見てみよう！

	評価	得点率	項目数	該当数	各項目診断結果に対するコメント
Ⅰ．従業員のWLB実現を支援する制度が整備されている	●●	66.7%	9	6	あなたの企業(団体)は仕事と生活の調和実現のための制度整備に向けた基本的な取り組みができています。仕事と育児の両立実現のための基本的な制度整備ができています。さらなる工夫も期してみてください。
(1) 仕事と育児の両立	●●	66.7%	3	2	
(2) 仕事と介護の両立	●●	66.7%	3	2	
(3) 仕事と地域生活・自己生活との両立	●●	66.7%	3	2	
Ⅱ．WLB関連制度が活用されるように、常に業務を見直し、効率的な働き方ができている	●●●	77.8%	9	7	あなたの企業(団体)は制度活用ができるよう、業務見直しや効率的な働き方に向けた取り組みがしっかりできています。WLB認定企業・表彰企業を目指して申請しましょう。職場環境の見直しがさらに必要です。質問項目の中で実施していないことにも着手してみてください。
(4) 業務内容の見直し	●●●	100.0%	3	3	
(5) 業務体制の見直し	●●●	100.0%	3	3	
(6) 職場環境の見直し	●	33.3%	3	1	

ポイント！

診断結果は１枚にまとめて印刷することもできるし、各項目を１枚ずつ印刷することも可能！
また、診断結果から事例紹介や取組方法についても見ることができます！

Step 4　センターへ送信してアドバイスを受けよう！

注意！！

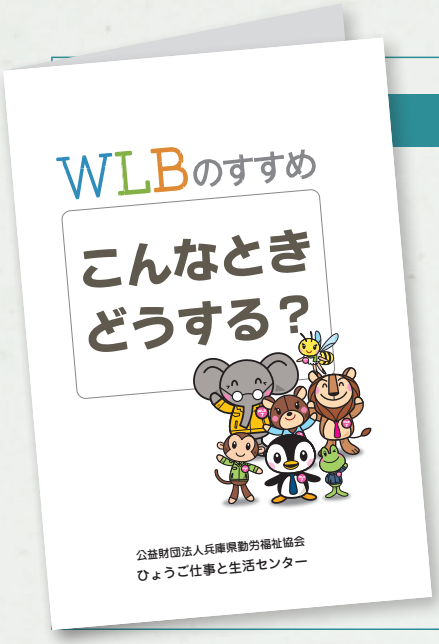
診断結果は送信前に印刷してください（送信後は印刷不可）。
また、診断結果の URL を保存しておくと、いつでも結果が確認できます。

課題が見つかったら…

具体的にどのように取り組んでいけばよいのか、次頁の冊子「WLB のすすめ」を参考にしよう！

課題の解決策を見つけよう!

昨年度センターが発行した冊子「WLB のすすめ　こんなときどうする？」は、これまでセンターを利用した多くの企業や団体による蓄積された実践支援の事例を基に、課題別に原因・背景を整理し改善策や具体的な運用方法などを紹介しています。これらを参考に、課題の解決策を探りましょう。



本書の活用方法

①「こんなことで困っています」

困っていることの裏には、その原因や背景が隠されています。もしも自組織で困っていることがあれば、本書の目次の中から選んで、該当の頁に記載された原因や改善を参照してください。

②「どんな風にすすめたらいいの？」

自組織で困っていることを解決するためには、改善策を立てて実行に移していくためのアクションプラン（行動実行）作成をお勧めしています。

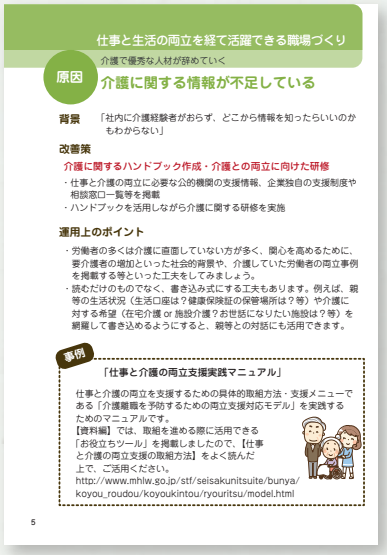
掲載事例

介護で優秀な人材が辞めていく

原因　介護に関する情報が不足している。

背景　社内に介護経験者がおらず、どこから情報を知ったらいいのかも分からない

改善策
- 介護に関するハンドブック作成
- 介護との両立に向けた研修



仕事と生活の両立を経て活躍できる職場づくり

介護で優秀な人材が辞めていく

原因　介護に関する情報が不足している

背景　「社内に介護経験者がおらず、どこから情報を知ったらいいのかもわからない」

改善策

介護に関するハンドブック作成・介護との両立に向けた研修

- 仕事と介護の両立に必要な公的機関の支援情報、企業独自の支援制度や相談窓口一覧等を掲載
- ハンドブックを活用しながら介護に関する研修を実施

運用上のポイント

- 労働者の多くは介護に直面していない方が多く、関心を高めるために、要介護者の増加といった社会的背景や、介護していた労働者の両立事例を掲載する等といった工夫をしてみましょう。
- 読むだけのものでなく、書き込み式にする工夫もあります。例えば、親等の生活状況（生活口座は？健康保険証の保管場所は？等）や介護に対する希望（在宅介護 or 施設介護？お世話になりたい施設は？等）を網羅して書き込めるようにすると、親等との対話にも活用できます。

事例

「仕事と介護の両立支援実践マニュアル」

仕事と介護の両立を支援するための具体的取組方法・支援メニューである「介護離職を予防するための両立支援対応モデル」を実践するためのマニュアルです。
【資料編】では、取組を進める際に活用できる「お役立ちツール」を掲載しましたので、【仕事と介護の両立支援の取組方法】をよく読んだ上で、ご活用ください。
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/ryouritsu/model.html

5

本書の PDF データは、センターのホームページからダウンロードできます。
WLB を実現するための手引きとして、ご利用ください。

ひょうご仕事と生活センター　こんなときどうする　検索

「WLB のすすめ　こんなときどうする？」に掲載されている事例は、ほんの一部です。
本書に掲載されていないようなケースなど、何かお困りのことがありましたら、お気軽にセンターまでご相談ください。スタッフが依頼事業所を訪問し、課題の解決に向けてサポートします。
一緒に WLB の実現を目指しましょう。

「宣言企業」の次は「認定企業」を目指しましょう！

ひょうご仕事と生活の調和推進認定企業を募集しています

認定企業とは？

「仕事と生活の調和」実現に向けて、多様な働き方の導入や、仕事と家庭生活の両立の促進、多様な人材の活用等に向けた取組を実施し、一定の成果を収めている企業・団体を認定します。

認定されると？

・認定企業としてホームページ等で広報します。
・ハローワークの求人票や求人広告などでPRできます。
・県と連携協定を結んでいる金融機関等で優遇金利での融資など、金融面で支援を受けられます。

認定対象は？

「ひょうご仕事と生活の調和推進企業宣言」に登録されている県内事業者で、「ワーク・ライフ・バランス Web 自己診断システム」の総合評価で、おおむね星印が 2 つ以上である場合、認定対象とします。

募集時期は？

1 年度に 2 回募集しています。

【本年度スケジュール】
第 1 回募集：2018 年 7 月 13 日（金）締切
第 2 回募集：2018 年 12 月ごろの予定

企業説明会で認定企業だと伝えたところ、多くの学生が集まってくれた。

認定されたことで、従業員の意欲が高まった。

金融機関等と連携したワーク・ライフ・バランス推進企業への金融支援

兵庫県と連携協定を締結している金融機関などが、ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む企業を対象に、優遇金利を適用した融資などを実施します。

金融機関ならびに支援内容

金融機関	商品名	対象	支援内容
日本政策金融公庫	働き方改革推進支援資金（企業活力強化貸付）	ひょうご仕事と生活の調和推進認定企業のうち中小企業	・企業の新事業展開や成長に向けた事業性資金に対する融資利率の優遇 ・私募債の財務代理手数料の優遇
商工組合中央金庫	ひょうごワーク・ライフ・バランス推進企業ローン	ひょうご仕事と生活の調和推進認定企業	
みなと銀行	銀行保証付私募債「みなと働き方改革取組私募債」	ひょうご仕事と生活の調和推進宣言企業	
但馬銀行	地域企業応援ローン（WLB 推進）	ひょうご仕事と生活の調和推進宣言企業および認定企業	
兵庫県信用保証協会	技術・経営力発展保証「スター」	ひょうご仕事と生活の調和推進認定企業	技術力・経営力が評価される企業として保証料の割引

※詳細は、各金融機関へお問い合わせください

多様な人材でバランスを取り 非常時にも備えた体制を

姫路城下のスタジオから日々多彩な情報を発信する株式会社姫路シティFM21「FMゲンキ」。地域に根差したコミュニティFMラジオ局として災害などの非常時に備えるとともに、あらゆる人材が活躍できる職場づくりを進めています。

番組の打ち合わせ風景。新聞を見ながら、タイムリーな話題を探す

株式会社姫路シティ FM21

非常時にも対応できる人員体制を

同社は姫路・西播磨地域の住民のための放送局として2001年、姫路市や地元企業などの出資により開局しました。当初はフルタイム勤務者が3人おり、各番組とも一人ずつ担当していましたが、退職者が出たことから深刻な人員不足に。「放送という特殊な業務のため、人材の確保には苦労しました」と放送局長の鯉塚晃好さんは話します。

フルタイムの少人数体制では、急に誰かが欠けた場合にカバーするのが難しいことを痛感し、2010年ごろからパートタイム従業員を多く採用することにより、1つの番組を複数人で担当する体制に切り替えました。

「災害時や警報発表時などの非常時には緊急放送をしなくてはならないので、常にそれに対応できるような人員体制を考えています」と鯉塚さん。

パート従業員の採用により、週に1回、数時間程度の勤務も可能となり、小さな子どもがいる女性でも働けるようになりました。2011年に入社した杉山ひろこさんもその一人です。初年度は週1回の勤務でしたが、子どもの成長に合わせて徐々に勤務時間を増やしていきました。

「子育て中のスタッフが他にも何人かいるので、子どもが体調を崩したときにはピンチヒッターをお願いするなど、互いに助け合ってきました」と振り返る杉山さん。夏休みなど学校の長期休暇中は、子連れ出勤も可能で、「子どもが小さい頃は、よく会社に連れて来て、番組の収録中は他のスタッフに子どもを見てもらうなどしていました」と笑顔で話します。

このほか、出社できない事情がある場合は、一時的に在宅勤務に切り替えることもできます。「育休直後で仕事と育児の両立が大変な時期に、自宅で音源の編集作業をしてもらうケースがありました。出産や育児が理由で離職しなくて済むよう、柔軟に対応しています」と鯉塚さん。

また、子育て世代が徐々に子どもに手がかからなくなるケースを想定して昨年4月、勤務時間がフルタイムより1～2時間短い「短時間正社員制度」を導入。現在、杉山さんをはじめ3人の女性が利用しています。

情報共有や非常時のための連絡ツールを整備

一人ひとり勤務時間が異なる同社では、ウェブを利用したグループウェア「サイボウズ」やメーリングリストを活用し、情報共有に力を注いでいます。各番組とも毎回放送終了後に、担当者がウェブ上の連絡シートに、放送内容やその日に発生したトラブルなどを入力。重要な事柄については、自動的に全番組のスタッフに配信され、トラブルの再発防止や業務の円滑化につなげています。

「週1回しか出社しないスタッフでも必要な情報は常に把握できるようになりました。災害など非常時の連絡ツールとしても役立っています」と鯉塚さん。

これからの課題として同社が挙げるのが、介護対策。短時間正社員制度は、子育て世代だけではなく、介護が必要な世代のための制度でもあるそうです。「親の介護でフルタイムで働けなくなっても、短時間正社員として続けてもらい、逆に子育てが一段落した世代にフルタイムや短時間正社員に移行してもらうなど、社全体のバランスを取っていけたらと考えています」

一人ひとりのライフステージに応じた、柔軟な働き方を支援するとともに、地域住民に必要な大切な情報を発信するラジオ局として、あらゆる事態に対応できる体制づくりを進めます。

放送局長の鯉塚さん（左）と現在は短時間正社員として働く杉山さん

株式会社姫路シティ FM21

事業内容　放送業
従業員数　23人
所 在 地　姫路市本町68 イーグレひめじ B2F
T E L　079-224-1666
http://fmgenki.jp/

READ

ワーク・ライフ・バランス関連書籍紹介

「ワーク・ライフ・バランスを実現する職場」（2017年2月刊行）

著者はワーク・ライフ・バランスを広く「仕事と生活が調和し、両者が互いに悪い影響をもたらさず、互いに高めあうこと」と幅広く捉えた上で、支援制度から直接の恩恵を受けない上司や同僚に着目して研究を進めています。その結果、支援制度が積極的に利用されるためには、上司に関しては①担当職務の自由度が高いこと、②さらなる上司から仕事の支援を受けること、同僚に関しては①残業時間削減に向けて適正な人員配置をすること、②担当職務の自由度が高いことが重要であることが判明しました。少し違った視点から考察することができる研究書です。

著者：細見正樹　発行：大阪大学出版会

「働く女子のキャリア格差」（2018年1月刊行）

本書の冒頭で、子どもが生まれたら営業成績が良くなった女性の事例が紹介されています。この事実を踏まえて、著者は、女性が育児と両立しながら仕事で活躍するために組織や個人が何をすべきなのかを考察します。組織に求められるのは、①副業解禁など職務内容制約の克服、②いつでもどこでも働ける勤務地制約の克服、③残業ゼロなど労働時間制約の克服です。その上で、個人がキャリア格差を乗り越えた事例として、①受け身でなく自ら仕事をリードする、②意識が変わったことで育休前より積極的になった、③自分目線から脱却して上司の信頼を得た、④役割を自覚したことでリーダーシップを発揮を紹介。全体の生産性をアップするための具体策が提案された好著です。

著者：国保祥子　発行：ちくま新書

※上記書籍はひょうご労働図書館で閲覧、貸出できます

始めませんか？安心・安定のワンコイン福利厚生制度「ひょうごファミリーパック」

県政トピックス TOPICS

「ひょうごファミリーパック」では、中小企業で働く皆さんを応援するため、兵庫県内の中小企業に勤務する従業員に対して、1社単独では実施困難な大企業並みの福利厚生を少ない負担で提供しています。

会費：1人2カ月で1,000円（実質月会費1人500円）

給　付	●12種類の慶弔見舞金（結婚祝金、出産祝金、勤続報奨金、退職餞別金） ※給付額：3,000円～7万円
福利厚生	●年間3万500円分の利用券の進呈（旅行・宿泊・食事クーポンなど施設利用補助）（②を含む） ①人間ドック・脳ドック利用の補助　会員10,000円＋配偶者10,000円補助 ②インフルエンザ予防接種の補助　会員2,000円＋配偶者2,000円補助
融　資	●日常の生活費や自動車購入費等を年率1.2%の低利率融資

パート、アルバイトさんの会費を助成します！

新たにファミリーパックに加入する非正規雇用労働者の会費の2分の1（1人最大3,000円）を最長3年助成します。詳しくはファミリーパックのホームページをご覧ください。

年間会費6,000円（1,000円×6期）×**2分の1**（最大）×**3年**（最長）**を助成**

申請期間：2018年4月1日～2019年2月28日

問い合わせ先／（公財）兵庫県勤労福祉協会 共済部　☎078-351-6786

information

ワーク・ライフ・バランス キャッチフレーズ募集中

ワーク・ライフ・バランス（WLB）の実現に向けてさらなる普及を図るため、WLBの取組を促進するキャッチフレーズを募集します。グランプリ作品はカレンダーやポスターに使用するなど、広く活用します。皆さんからの応募をお待ちしています！

【 内 容 】長時間労働の是正をはじめとする働き方改革を進め
ワーク・ライフ・バランスの取組を促進するキャッチフレーズ

【 対 象 】兵庫県内に在住・在勤・在学の人

【応募方法】①キャッチフレーズ ②キャッチフレーズの説明 ③郵便番号 ④住所 ⑤氏名 ⑥年齢 ⑦性別 ⑧電話番号 ⑨メールアドレス ⑩勤務先（学生の方は学校名）を応募用紙またはハガキに記入の上、センターへ郵送。FAXまたはEメールで応募 ※応募用紙は、ひょうご仕事と生活センターのホームページからダウンロードできます

【締め切り】2018年8月3日（金）

【 表 彰 】

グランプリ（兵庫県雇用対策三者会議賞）…… 1点（副賞 3万円）
準グランプリ（兵庫労働局長賞・働き方改革賞）…… 1点（副賞 1万円）
佳作（ひょうご仕事と生活センター長賞）…… 2点（副賞 5千円）

〈昨年のポスター〉

昨年の受賞作品

変えよう働き方　認めよう多様性
笑顔が広がる　ワーク・ライフ・バランス

センターの主な事業

ワンストップ相談
ワーク・ライフ・バランスに関する相談や質問を受け付けています。面談のほか、電話やメールでも対応可能です。

研修・実践支援の実施
相談に応じて、ワーク・ライフ・バランス実現推進に向けた研修や担当者への実践的なアドバイスを実施します。

相談員の派遣
課題やテーマに応じた専門家を無料で派遣し、ワーク・ライフ・バランスについての要望に最適なサポートを提案します。

企業助成
ワーク・ライフ・バランスの実現推進を支援するための各種助成金を用意しています。

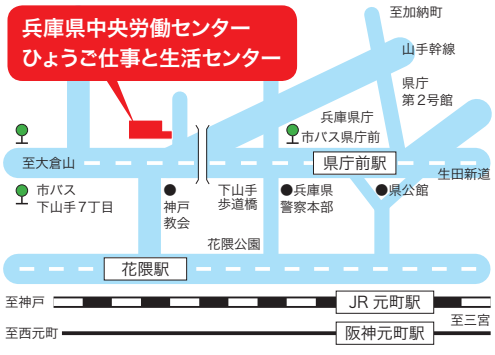
公益財団法人 兵庫県勤労福祉協会

ひょうご仕事と生活センター

〒650-0011
神戸市中央区下山手通6-3-28 兵庫県中央労働センター1階
TEL 078-381-5277
FAX 078-381-5288
E-mail info@hyogo-wlb.jp
開館 月～金曜 9：00～17：00（祝休日、年末・年始を除く）

携帯、タブレットからアクセスできます。

https://www.hyogo-wlb.jp/ ひょうご仕事と生活センター 検索



●神戸市営地下鉄「県庁前」駅西出口③から西へ徒歩5～7分
●神戸高速鉄道「花隈」駅東口から北へ徒歩5～7分
●JR「元町」駅西口から西へ徒歩10～15分
●阪神電鉄「元町」駅西口から西へ徒歩10～15分